

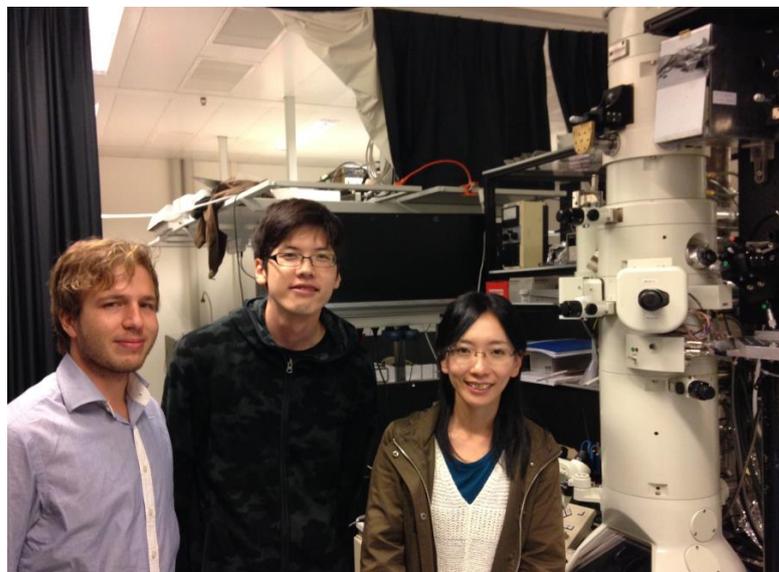
スイス連邦工科大学ローザンヌ校での滞在を終えて

物理工学専攻 博士課程 2年 中村飛鳥

2016年5月1日から7月12日までの約2ヶ月半、スイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)に滞在し、Fabrizio Carbone 教授の研究室(LUMES)で共同研究を行った。LUMES はフェムト秒レーザーを用いた時間分解電子顕微鏡を用いた先駆的な研究を行っている研究室である。滞在中は LUMES で進行中のスキルミオンのナノ秒ダイナミクスの研究の実験に参加するとともに、私が現在研究中の遷移金属ダイカルコゲナイド系のフェムト秒格子ダイナミクスの研究を行った。

LUMES は 8 人程度のグループで、すぐにすべてのメンバーと打ち解けることができた。特に一緒に実験を行った Gabriele とは、研究だけでなく自宅でのバーベキューに度々誘ってもらったりと公私ともに楽しい時間を過ごし、電子顕微鏡の使い方からおいしいカルボナーラの作り方まで様々なことを話した。

今回の EPFL における滞在は、今後研究を行っていくにあたり、私にとってとても貴重な経験となったと思う。このような機会を与えてくださった ALPS 関係者の皆様、滞在に向けて協力してくださった指導教官の石坂先生、そして受け入れ先の Carbone 先生及びお世話になった LUMES のメンバーに感謝したい。



使用した LUMES の電子顕微鏡前にて

左から一緒に実験を行った Berruto Gabriele 氏、中村、EPFL を訪問した石坂先生